

## 「地区毎の意見交換会」を再開しました！

新型コロナ対策等のために大変ご迷惑をおかけしましたが、11月末までに流域内の全8地区で1回目の「地区毎の意見交換会」を終えました。

★10月以降に開催しました6地区（若葉台、倉田、津ノ井、米里、国府、面影）での意見交換会の開催状況を通信「第3号」「第4号」にてご紹介します。

### 若葉台地区での意見交換会

- ・日 時 … 10月3日(日)18時30分～
- ・場 所 … 若葉台地区公民館
- ・参加者 … 町内会長を中心に、計10名

#### [参加者の主なご意見]

- ・流域治水の精神論は理解できるが貯留効果が目に見えないため、地区として直ぐに何かに取り組むのは難しいのではないかと。
- ・若葉台では、「大池」の堆積土を掘削したり事前放流することが最も効果が大きく、まず取り組むべきであると思う。
- ・雨水タンクは全戸が対応すれば多少の効果はあると思うが、水の貯め方など色々工夫が必要。貯めた水をどのように活用できるのかをおしえてほしい。なお、学校や企業にも流域治水の取組を働きかけるべき。
- ・水路の流末のマンホールに入る部分にスクリーン（人が吸い込まれないようにする目的）が設置されているが、ここにゴミが溜まっている。これをどう管理していくのかが課題である。
- ・若葉台は開発した土地であり、我々は雨水の処理について責任がある。今後も流域治水の話し合いを続けていきたい。
- ・治水緑地の越流堰の高さはどのように決まっているのか。もっと活用できるようにすべきではないか。

## 倉田地区での意見交換会

- ・日 時 … 10月12日(火)18時30分～
- ・場 所 … 倉田地区公民館
- ・参加者 … 自治会長を中心に、計10名

### [参加者の主なご意見]

- ・近年、雨の降り方は様々。ゲリラ豪雨もあれば大量の長雨もある。どういう対策が効果的なのかをリスク毎に整理していくべき。
- ・農家は田んぼが命。田んぼダムは難しい。理由としては、①8月末までは水を貯めるが、必要以上に水を貯めると稲の生育に悪影響を及ぼす。②9月以降は稲刈り時期になるため、できる限り田んぼを乾かしたい。③品種毎に水を貯める時期、乾かす時期が異なる。といったこと。
- ・まずは宅地開発に対しての規制を検討してもらいたい。西円通寺は工業団地化されたが洪水調整池を設けている。このように規制していくべき。
- ・倉田地区は年2回、自分達で用水路の土砂撤去をしているが、流域全体でこうした取組をしていくべき。

## 津ノ井地区での意見交換会

- ・日 時 … 10月22日(金)18時30分～
- ・場 所 … 津ノ井地区公民館
- ・参加者 … 自治会長を中心に、計8名

### [参加者の主なご意見]

- ・河川、水路、ため池の維持管理(土砂撤去等)が最も重要である。
- ・自宅や学校に雨水タンクを設置しても、豪雨の前に事前放流する必要があるし、泥も溜まってくるから撤去しないといけない。普及は難しいだろう。また、田んぼダムも、田んぼを乾かす時期があったり、水を貯めることで稲の生育に支障を来すことがあったりするため、普及は難しいだろう。
- ・祢宜谷では既に田んぼダムを実施しているが、令和3年7月豪雨の際、すぐに水が一杯になり畦が崩落する恐れがあったため堰板を撤去した。
- ・津ノ井は年に数回、自分達で用水路の土砂撤去をしているが、流域全体でこうした取組をしていくべき。
- ・治水緑地はこれまで洪水を貯留したことがない。有効活用を考えるべき。
- ・ため池事前放流については、夏は未だ水が必要なので難しいが、秋の台風時期はできるだけ放流しておけばよいと思う。ただし、大雨の際の放流操作は危険であるため方法を考えないといけない。